



2025年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2025年11月13日

上場会社名 株式会社Sapeet 上場取引所 東
 コード番号 269A URL http://sapeet.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 築山 英治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 佐藤 琢治 (TEL) 03 (6822) 3263
 定時株主総会開催予定日 2025年12月23日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2025年12月19日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年9月期の業績 (2024年10月1日～2025年9月30日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期	996	56.9	55	—	45	—	70	—
2024年9月期	634	50.8	△19	—	△28	—	△29	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年9月期	45.25	42.96	21.2	8.6	5.5
2024年9月期	△23.66	—	—	△8.0	△3.0

(注) 2024年6月20付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行なわれたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期	597	498	83.4	315.95
2024年9月期	452	167	37.1	120.73

(参考) 自己資本 2025年9月期 498百万円 2024年9月期 167百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年9月期	45	△102	49	213
2024年9月期	△31	△99	195	220

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	0.0	—
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	0.0	—
2026年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	0.0	—

3. 2026年9月期の業績予想 (2025年10月1日～2026年9月30日)

(%表示は対前期増減率)

通 期	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	1,400	40.5	82	48.6	83	83.4	82	16.2	51.99

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年9月期	1,577,100株	2024年9月期	1,388,700株
② 期末自己株式数	2025年9月期	一株	2024年9月期	一株
③ 期中平均株式数	2025年9月期	1,558,802株	2024年9月期	1,227,904株

(注) 当社は2024年6月20日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。2024年9月期の期首に当該株式分割が行われたものと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨ではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等は、添付資料P.4「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明資料の入手方法について)

当社は、2025年11月20日（木）に機関投資家及びアナリスト向け説明会（オンライン説明会）を開催する予定です。当日の説明資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 財務諸表及び主な注記	5
(1) 貸借対照表	5
(2) 損益計算書	7
【売上原価明細書】	8
(3) 株主資本等変動計算書	9
(4) キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(持分法損益等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における国内経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が完全に薄らぎ、経済活動の正常化が一層進んだことに加え、各種政策の効果や企業の堅調な設備投資意欲に支えられ、緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で、世界的な金融引き締めの影響が残る中で、資源価格の高騰を背景とした物価上昇が続き、個人消費への影響が懸念される状況で推移いたしました。また、労働市場においては人手不足が構造的な問題として深刻化しており、企業の生産活動におけるボトルネックとなっております。さらに、国際的な地政学リスクや、主要貿易相手国による関税政策の変更などの影響により、国内外における経済的な見通しは依然として不透明な状況が続きました。

当社が属するAIシステム関連市場は、企業経営における最優先課題である生産性の抜本的な向上、競争力強化、および喫緊の課題である人手不足の解消を目的とした投資が継続的に行われた結果、市場全体として高い成長を遂げました。この成長を裏付けるように、国内AIシステム市場においては、2024年の1兆3,412億円から2029年には4兆1,873億円への大幅な拡大が見込まれており（出典：IDC Japan 株式会社「国内AIシステム市場予測、2024年～2029年」）、企業のAIに対する投資意欲の高さと、市場の強固なポテンシャルを示しております。特に、生成AI（Generative AI）は、単なる技術トレンドに留まらず、企業の業務プロセスやビジネスモデルそのものを変革するツールとして浸透し、新規事業の創出および既存業務の効率化に向けたAIソリューションの導入が急速に拡大いたしました。このトレンドの根底には、長年課題とされてきた熟練者の知恵やノウハウといった「暗黙知」を、AIを活用して「形式知」へ変換・継承し、企業全体の競争力として活用しようとするニーズの高まり見受けられました。

このような環境下、当社は「ひとを科学し、寄り添いをつくる」のミッションの下、AI技術やその他の先端技術を活用して、Expert AI事業として独自のAIソリューション・AIプロダクトを提供しております。AIソリューションにおいては既存取引先との継続的な取り組みや更なる拡大、各種アルゴリズムや生成AIを用いた新規案件獲得に注力しております。AIプロダクトにおいては「シセイカルテ」「マルチカルテ」といった既存サービスに加えて、AIソリューションで実績のあるAIロープレをSaaS型のサービスとした「カルティロープレ」をリリースし拡販を進めております。また、今後の事業拡大に向けた戦略的投資を実行しており、例えば急拡大しているAIエージェントを含む生成AI活用領域への投資、新たなAIプロダクト創出等があります。また、成長市場における認知度向上のためのマーケティング及び今後の事業拡大の源泉となる人材獲得等に注力いたしました。

これらの結果、当期における当社の経営成績は以下のとおりとなりました。

売上高については、AIソリューションにおいては既存プロジェクトの進捗・拡大や生成AIやAIエージェント関連の新規プロジェクト獲得、AIプロダクトにおける「シセイカルテ」「マルチカルテ」のアカウント数の増加や「カルティロープレ」のサービス提供開始等により996,301千円（前期比56.9%増）となりました。特にAIソリューションにおいては、東京証券取引所グロース市場への上場による認知度向上及び信用力の向上や、AIシステム関連市場の拡大等も追い風となり高い成長となりました。

売上原価については、個別案件を通じた戦略的投資やAIソリューションの急激な拡大によるリソース確保のための労務費及び外注費の増加等により495,275千円（前期比96.1%増）となりました。なお、AIソリューションにおいては、今後の取引拡大が想定できるような案件や、AIエージェントを中心とした当社の注力領域の案件については戦略的な提案を行っており、労務費及び外注費の増加の一因となっております。

売上総利益については、上記のとおり、売上増加、外注費といった各増加や戦略的投資等により501,026千円（前期比31.0%増）となりました。

販売費及び一般管理費については、引続き事業拡大のための先行投資として研究開発や人材・マーケティングへの投資や、新規上場関連のスポット的な費用増加により445,860千円（前期比11.1%増）となりました。

営業利益については、上記のように様々な投資を継続しながらも、売上高の増加により固定費が吸収され、55,166千円（前年同期は19,068千円の営業損失）となりました。

経常利益については、営業外費用に東京証券取引所グロース市場への上場に伴い2024年10月に実施した公募増資及び2024年11月に実施した第三者割当増資による株式交付費2,821千円、上場関連費用7,430千円といったスポット的な費用を計上したこと等により45,255千円（同28,542千円の経常損失）となりました。

当期純利益については、特別損失として今後の利用見込みや収益獲得見込みが低いソフトウェアを保守的に除却

したことによる固定資産除却損3,011千円を計上したこと、当事業年度の黒字化及び今後の業績見通し等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、法人税等調整額(△は利益)を△28,830千円を計上したこと等により、70,543千円(同29,057千円の当期純損失)となりました。

上記のように、先行投資を継続しながらも、固定費が吸収されたこと等により損益分岐点を上回り、各段階利益は黒字転換しております。

なお、当社はExpert AI事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における資産合計は597,708千円となり、前事業年度末に比べ145,687千円増加いたしました。

内訳として、流動資産については、売上高の増加により売掛金が10,871千円、契約資産が37,565千円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産については、AIプロダクト開発の進捗によるソフトウェアの資産計上により無形固定資産が64,915千円増加したこと、当事業年度の黒字化及び今後の業績見通し等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、繰延税金資産28,830千円を計上したことによるものであります。

(負債)

当事業年度末における負債合計は99,420千円となり、前事業年度末に比べ184,847千円減少いたしました。これは主に、2024年10月に実施した公募増資資金の一部及び自己資金を原資として借入金の返済を行ったことにより、短期借入金が200,000千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当事業年度末における純資産は498,288千円となり、前事業年度末に比べ330,535千円増加いたしました。これは、株式の発行及び減資並びに当期純利益70,543千円によるものであります。株式の発行については、2024年10月に実施した公募増資及び2024年11月に実施した第三者割当増資により資本金が129,996千円、資本剰余金が129,996千円それぞれ増加しております。また、2025年1月に実施した減資については、資本金の資本剰余金への振り替えにより、資本金が352,852千円減少し、資本剰余金が352,852千円増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は213,327千円となり、前事業年度末に比べ6,900千円減少いたしました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における営業活動による資金は45,896千円の増加(前期は31,907千円減少)となりました。これは主に、税引前当期純利益の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における投資活動による資金は102,536千円の減少(前期は99,664千円の減少)となりました。これは主に、ソフトウェアの取得(自社開発)に伴う支出93,810千円及びオフィスの備品及び業務で使用するPCの取得に伴う支出8,725千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当事業年度における財務活動による資金は49,739千円の増加(前期は195,448千円の増加)となりました。これは主に、株式の発行による収入257,170千円及び金融機関からの短期借入金の返済200,000千円によるものであります。

(4) 今後の見通し

2026年9月期につきましては、前期から引続きAIソリューションにおける旺盛な需要が継続することを見込んでおり、さらなる事業拡大のためAIエージェントなどの開発も同時に行ってまいります。また、AIプロダクトは堅調に推移しておりますが、カルティロープレが前期第4四半期から売上が伸長しており、シセイカルテ・マルチカルテに次ぐプロダクトとしての成長を見込んでおります。前期においては、様々な投資を継続しつつも黒字転換いたしましたが、より投資を加速し中長期的な成長基盤を確立してまいります。

その結果、2026年9月期の業績予想といたしましては、売上高1,400百万円（前年同期比40.5%）、営業利益82百万円（前年同期比48.6%）、経常利益83百万円（前年同期比83.4%）、当期純利益82百万円（前年同期比16.2%）となり、

経営環境の動向を注視し、業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準は日本基準を適用しております。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	220,228	213,327
売掛金	111,291	122,163
契約資産	-	37,565
前渡金	1,387	-
前払費用	14,208	19,727
未収入金	-	139
その他	103	143
貸倒引当金	△16,791	△15,443
流動資産合計	330,428	377,622
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	11,690	11,987
減価償却累計額	△711	△858
建物附属設備 (純額)	10,979	11,128
工具、器具及び備品	5,185	11,596
減価償却累計額	△1,307	△2,079
工具、器具及び備品 (純額)	3,878	9,516
その他	438	219
有形固定資産合計	15,296	20,864
無形固定資産		
ソフトウェア	82,012	140,261
ソフトウェア仮勘定	-	6,666
無形固定資産合計	82,012	146,927
投資その他の資産		
敷金	24,283	23,462
繰延税金資産	-	28,830
投資その他の資産合計	24,283	52,292
固定資産合計	121,592	220,085
資産合計	452,020	597,708
負債の部		
流動負債		
買掛金	22,066	34,608
短期借入金	200,000	-
未払金	23,495	17,217
未払費用	5,285	8,499
未払法人税等	5,712	530
未払消費税等	14,745	23,680
契約負債	6,665	6,856
預り金	6,297	8,028
流動負債合計	284,268	99,420
負債合計	284,268	99,420

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年9月30日)	当事業年度 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	232,856	10,000
資本剰余金		
資本準備金	232,354	362,350
その他資本剰余金	—	352,852
資本剰余金合計	232,354	715,202
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△297,541	△226,997
利益剰余金合計	△297,541	△226,997
株主資本合計	167,669	498,204
新株予約権	83	83
純資産合計	167,752	498,288
負債純資産合計	452,020	597,708

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
売上高	634,946	996,301
売上原価	252,571	495,275
売上総利益	382,375	501,026
販売費及び一般管理費	401,443	445,860
営業利益又は営業損失(△)	△19,068	55,166
営業外収益		
受取利息	30	357
雑収入	828	1,066
営業外収益合計	859	1,424
営業外費用		
支払利息	4,211	584
株式交付費	3,865	2,821
上場関連費用	2,000	7,430
為替差損	72	168
雑損失	184	330
営業外費用合計	10,334	11,335
経常利益又は経常損失(△)	△28,542	45,255
特別損失		
固定資産除却損	-	3,011
特別損失合計	-	3,011
税引前当期純利益又は税引前当期純損失(△)	△28,542	42,243
法人税、住民税及び事業税	514	530
法人税等調整額	-	△28,830
法人税等合計	514	△28,300
当期純利益又は当期純損失(△)	△29,057	70,543

【売上原価明細書】

区分	注記 番号	前事業年度 (自2023年10月1日 至2024年9月30日)		当事業年度 (自2024年10月1日 至2025年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 労務費		159,126	44.0	216,903	35.9
II 経費	※1	202,588	56.0	387,928	64.1
合計		361,715	100.0	604,831	100.0
他勘定振替高	※2	△109,143		△109,587	
売上原価		252,571		495,275	

(注) ※1 主な内訳は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
外注費	161,961	320,737
通信費	19,064	26,922
地代家賃	13,050	11,844

※2 他勘定振替高の内容は、次のとおりであります。

項目	前事業年度(千円)	当事業年度(千円)
研究開発費	19,309	19,827
ソフトウェア	89,834	89,759
計	109,143	109,587

(原価計算の方法)

当社の原価計算は、個別原価計算による実際原価計算であります。

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自2023年10月1日 至2024年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	8,000	7,498	—	7,498
当期変動額				
新株の発行	224,856	224,856		224,856
減資				
当期純利益				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	224,856	224,856	—	224,856
当期末残高	232,856	232,354	—	232,354

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	△268,483	△268,483	△252,985	83	△252,901
当期変動額					
新株の発行			449,712		449,712
減資					
当期純利益	△29,057	△29,057	△29,057		△29,057
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	△29,057	△29,057	420,654	—	420,654
当期末残高	△297,541	△297,541	167,669	83	167,752

当事業年度(自2024年10月1日 至2025年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本			
	資本金	資本剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計
当期首残高	232,856	232,354	—	232,354
当期変動額				
新株の発行	129,996	129,996		129,996
減資	△352,852		352,852	352,852
当期純利益				
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)				
当期変動額合計	△222,856	129,996	352,852	482,848
当期末残高	10,000	362,350	352,852	715,202

	株主資本			新株予約権	純資産合計
	利益剰余金		株主資本合計		
	その他利益剰余金	利益剰余金合計			
	繰越利益剰余金				
当期首残高	△297,541	△297,541	167,669	83	167,752
当期変動額					
新株の発行			259,992		259,992
減資			—		—
当期純利益	70,543	70,543	70,543		70,543
株主資本以外の項目 の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	70,543	70,543	330,535	—	330,535
当期末残高	△226,997	△226,997	498,204	83	498,288

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益又は税引前当期純損失 (△)	△28,542	42,243
減価償却費	9,005	29,042
敷金償却	820	820
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,333	△1,348
受取利息及び受取配当金	△30	△357
解約違約金	—	△242
支払利息	4,211	584
上場関連費用	—	7,430
株式交付費	3,865	2,821
固定資産除却損	—	3,011
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△36,407	△48,436
前払費用の増減額 (△は増加)	△4,088	△5,816
前渡金の増減額 (△は増加)	1,672	1,387
棚卸資産の増減額 (△は増加)	—	△115
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,729	12,541
未払金の増減額 (△は減少)	△438	△6,277
契約負債の増減額 (△は減少)	△4,308	190
未払消費税等の増減額 (△は減少)	9,334	8,934
その他	4,948	4,880
小計	△26,895	51,296
利息及び配当金の受取額	30	357
解約違約金の受取額	—	242
利息の支払額	△4,863	△287
法人税等の支払額	△179	△5,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	△31,907	45,896
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△9,830	△8,725
ソフトウェアの取得による支出	△89,834	△93,810
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,664	△102,536
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	—
短期借入金の返済による支出	△450,000	△200,000
長期借入金の返済による支出	△2,340	—
上場関連費用の支出	—	△7,430
株式の発行による収入	447,788	257,170
財務活動によるキャッシュ・フロー	195,448	49,739
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	63,875	△6,900
現金及び現金同等物の期首残高	156,352	220,228
現金及び現金同等物の期末残高	220,228	213,327

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前事業年度(自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)

当社の事業セグメントは、Expert AI事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

当事業年度(自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)

当社の事業セグメントは、Expert AI事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(持分法損益等)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり純資産額	120.73円	315.95円
1株当たり当期純利益又は当期純損失 (△)	△23.66円	45.25円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	42.96円

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、前事業年度は1株当たり当期純損失であり、また、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 2024年5月31日開催の取締役会決議により、2024年6月20日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失を算定しております。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2023年10月1日 至 2024年9月30日)	当事業年度 (自 2024年10月1日 至 2025年9月30日)
1株当たり当期純利益又は当期純損失		
当期純利益又は当期純損失 (△) (千円)	△29,057	70,543
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益又は当期純損失 (△) (千円)	△29,057	70,543
普通株式の期中平均株式数(株)	1,227,904	1,558,802
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	新株予約権1種類(新株予約権の数11,100個)	新株予約権1種類(新株予約権の数11,100個)

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前事業年度末 (2024年9月30日)	当事業年度末 (2025年9月30日)
純資産の部の合計額(千円)	167,752	498,288
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	83	83
(うち新株予約権)(千円)	(83)	(83)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	167,669	498,204
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,388,700	1,577,100

(重要な後発事象)

該当事項はありません。